

理科教育のこれからを考える

— 主体的・対話的な授業創りに取り組む教師であるために —

2023年6月18日(日) 13:00~17:00【ハイブリッド開催】

主催：NPO 法人理科カリキュラムを考える会 <https://rikakari.jp/>

対象：小・中・高・大の理科教育に携わる方、教育ジャーナリスト、一般

会場：国立オリンピック記念青少年総合センター（東京都渋谷区）

定員：対面80名・オンライン120名

参加費：一般3,000円 会員2,000円 学生1,000円 定員200名（先着順）

申込み：次のWEBから申し込んでください <https://rikakari20230618.peatix.com> (QRコード↑)

問合せ：理科カリキュラムを考える会事務局 小川慎二郎 [rikakari.jimu\(at\)gmail.com](mailto:rikakari.jimu(at)gmail.com)



理科の研究会でベテランと若手をつなぎたい

日本の理科教育は、ベテラン教員の培った取り組みの姿勢や成果を若手教員に伝えることで、カリキュラムや授業案の裏にある本質的な意義を引き継いできました。しかし、その大きな役割を果たしてきた全国の理科の研究会は、ベテランと若手をうまくつなぐことが難しくなっています。その原因には、急速な世代交代によって気軽に相談できる先輩教員がいなくなっただけでなく、ICTの教育への急激な浸透や教員の多忙化により、学校外の研究会に参加する意義が見えにくくなっていることがあるのではないのでしょうか。

急速にテンポの早まる社会で、若手教員が授業を前にしてネットから情報を収集しても、これまでベテラン教員が研究してきた成果を効率よく得ることはできません。理科の授業時間が多い時期（義務教育の理科は1970年代1048時間→1998年改訂時640時間→今は790時間）に色々な工夫をしてきたベテランが若手と交流できる時間はもう残り少なく、今はそのチャンスの時期です。今だからこそできる若手のための研究会のあり方を見出しましょう。

13:00 提言「教師が専門技術を磨き続けるために」 滝川洋二（本会理事長）

13:30 講演「理科の研究会における継続的な学び」

高橋匡之（科学教育研究協議会委員長）

柴崎幸貴（福岡物理サークル代表）

高橋政宏（SCIENTIA 藤枝理科サークル代表）

都築 功（東京都生物教育研究会）

16:00 パネルディスカッション「若手教員に伝えたい 主体的・対話的な授業創り」

講演者の方々と参加者の皆さんで考えを共有します・全国の理科の研究会マップも作成中です

若手教員にこそ参加してほしい

理科教育は、科学の知識を伝えるだけでは成立しません。主体的・対話的な授業を創るには「何を」「どのように」伝えるか？教える知識にはどんな意味がや広がりがあるか？それらを子どもにどう動機付けするか？といった、教育内容や教育方法、子どもの持つ生活概念への理解が必要不可欠で、ICTが導入されてもその本質は変わることはありません。

学ぶ意欲のある若手教員の皆さんがWEBで検索しても、本質的に重要な情報はなかなか見つからず、役立つ学びの情報を得ることに苦労しているのではないのでしょうか？生徒が主体的・対話的に授業に参加できるような方法を研究し続ける場をいかにして継続させ、学びたい人を相互にどうつなげるかという課題を、共に考えて行きませんか？

リカ カリ

科学教育研究協議会（科教協）

は1954年に発足しました。民間の理科研究団体では唯一の月刊誌「理科教室」（本の泉社）を発行し、小中高校の授業実践記録、授業に役立つ実験、子どもの生活概念、生徒の意欲をどう引き出すかなどの教師のための情報を載せています。

地域ごとや物化生地のサークルで検討された指導案や授業記録を全国大会で議論します。Facebook「理科教室」応援サイトでは実験の交流が盛んです。

福岡物理サークル

は2010年の「高校物理の授業に役立つ基本実験講習会 in 福岡」開催を発端として、年1回の実験講習会と年3回の研究会の開催を続けています。福岡だけでなく、近隣の県の先生方も参加しています。

教育現場に根ざした授業法や実験法などについて議論を深め、日々の授業に役立つものを創り出し、物理の授業における効果的な実験の導入を重要視する動きを作ろうとしています。

SCIENTIA（スキエンティア）

は2015年に発足し、静岡県藤枝市を中心に活動する理科教育のサークルです。県内外から幅広い年齢層や校種の会員が参加し「理科で人とつながる」サークルを目指しています。

例会では実践紹介や教材紹介をメインで行い、子どもたちにとってよりよい理科教育について考えています。授業案検討、授業の悩み相談なども行います。例会報告「Serendipity」を発行して広く活動を伝えています。

東京都生物教育研究会（都生研）

は都立高校の教員を中心とした都内の公立・私立高校教員の研究団体です。都の高校教員以外にも多数の個人会員が所属しており、研修会を通じて情報交換を行っています。

企画による研修会（講演や宿泊研修）や指導実践に関する勉強会（年4回）、各支部（8支部あります）における研修などが行われています。また、実験・実習をサポートする教材配布も行っています。